

高梁市議会

第34号
2018年5月

だより



〔特集〕第3次行財政改革プランについて	2
3月定例会報告	3
臨時議会報告	8
管内行政視察報告	9
一般質問 ここが聞きたい	10
管外行政視察報告	15
TOPICS あの議論はどうなった? 「高梁市図書館」	16

※アニメスタジオオープニングセレモニーの様子

第3次行財政改革プランについて

第3次行財政改革プラン

平成29年度～33年度までの5年間

改革のテーマ「将来の人口減少を見据えた行政基盤の確立」

行政サービス改革

民間の活用
窓口の充実

財政構造改革

事務事業の見直し
資産の管理と活用
負担の適正化
財源確保
徴収体制の強化

行政運営改革

簡素で効率的な組織
職員の意識改革
働き方改革

4人の議員が行革について質問

平成29年度から第3次行財政改革プランが動き出しました。過去2回の行財政改革は人員削減などが中心でしたが、今回は制度の見直しや働き方改革などが行われます。

高梁市では、平成17年度から平成22年度、平成22年度から平成26年度にかけて2度の行財政改革を行い、職員数の削減や事務事業の見直しなど、歳出削減に向けた取り組みを推進してきました。

しかし、人口減少とそれに伴うさまざまな課題、またこれまでの改革で計画どおり改善しなかった事項や、合併から10年以上がたつ中で、いまだに統一されていない事務や業務も存在しています。

これらの課題解決に向けて、平成29年度から平成33年度までの5年間、第3次行財政改革が行なわれます。

議会へは、平成30年2月7日の全員協議会で執行部から案が示されました。その後、3月定例会では4人

の議員が、執行部に質問しました。

行財政改革の推進体制と進捗管理についての質問には、高梁市行財政改革推進本部の本部長は市長で、事務局は理財課が担当する。本部の下に6つの部会を設置し、推進本部における協議内容は部会を通じ周知する。また民間の委員から構成される『高梁市行政改革推進委員会』を設けて、意見を伺いながら取りまとめていく、推進本部が全体を掌握し、実施計画の見直しについて随時協議する等改革全体の進捗管理を行う、という答弁がありました。

また、旅費のうち宿泊費の精算方法を定額から実費にしてはどうかという質問には、宿泊費には宿泊に伴う諸雑費が全て含まれている。実費にすると、必要性まで検証するために膨大な事務量がかかる。他方、事務経費の削減のために、国も安いバックツアーを使うことを検討しているので、市としても研究する、とい

う答弁がありました。

さらに、市民要望に基づいた行財政改革プラン及び実施計画の策定を行なうべきではないかという意見に対し、行財政改革は、将来において安定した行財政運営を維持し、質の高い市民サービスを提供するために行なう。市民に対して一番いい施策を検討する中で、全体を見ながら市民要望に応えさせていただくことを基本に置く、という答弁がありました。



3月
定例会

平成30年度予算を中心に審議

3月9日から3月27日まで、平成30年第2回高梁市議会定例会が開催されました。今定例会では市長提出の議案76件全てを可決しました。また追加議案1件が提出され、適任と決しました。

市長の提案説明に 対する質疑

農業施策

農家への支援の内容についての質問に対し、認定農業者や農業法人などに重点的に支援をしていくこと、新規就農者を受け入れるためのお試し住宅への支援、販売力強化、ブランド力強化への取り組みを考えている、との答弁がありました。

就学前の

保育・教育

高梁市街地における保育園と幼稚園の整備、待機児童問題についての質問がありました。

これに対し、現在入園希望者の調整をしており、平成30年度は待機児童を出さずに済むのではないかと考えているが、引き続き保育士や幼稚園教諭の確保に努めていく。市街地の認定こども園については早急に進めていく必要があるので、平成30年度の課題として取り上げたい、との答弁がありました。

高梁市図書館

また、保育園や幼稚園に通っていない子どもたちへの施策について質問がありました。

これに対し、長年本市に関わってくださっている明治大学の小林正美副学長からも人の流れをつくる必要性を指摘されており、商工会議所や商店街の方たちと連携して取り組みたい。ま

これに対し、現任入園希望者の調整をしており、平成30年度は待機児童を出さずに済むのではないかと考えているが、引き続き保育士や幼稚園教諭の確保に努めていく。市街地の認定こども園については早急に進めていく必要があるので、平成30年度の課題として取り上げたい、との答弁がありました。

た、5年間の観光戦略アクションプランをへて、次の観光へ向けたアクションをどう起こすのか、市民が観光に参画する仕掛けができないかと考えている、との答弁がありました。

また、図書館の教育効果についても質問がありました。

これに対し、入館者数ではなく貸出冊数が1つの指標になると考えており、目標達成に努力したい。駅前に図書館ができたことで多くの学生の利用がある。学習意欲や本に触れる機会が増えてきており、高梁市の教育力向上に寄与していると考えている、との答弁がありました。

アニメ産業誘致

アニメ産業の誘致についての質問に対し、吉備川上ふれあい漫画美術館や市内飲食店とのつながりを持たせたい。また、アニメを目

指す方への支援や、市内を回遊していただくときに、アニメが1つのポイントとなるように、株式会社備中高梁まちづくり研究所とも連携していきたい、との答弁がありました。

県立高校の在り方

県立高校の在り方についてはどのように考えているのかとの質問に対し、市内の県立高校は特色を出そうと努力しているので、市としても応援していきたい。今回その1つとしてフランスのアンペール高校との交流を提案している。また、市民にも現状を知っていたき、県立高校存続の機運を高めていきたい、との答弁がありました。

交流人口

スポーツ交流人口と地域経済に好循環を生む仕掛けづくりについての質問に対し、例えば、ヒルクライム

レースでも、さらに付加価値を高める必要がある。レース以外で訪れた方々を捉えて交流人口を増やしていくことが地域経済に波及効果を及ぼすことになるので、一層の官民連携が必要である、との答弁がありました。

各議案に対する質疑

アニメスタジオ整備事業

吉備国際大学との連携によるアニメスタジオの運営支援の具体的内容、また、支援期間についての質問に対し、高梁地域から題材をとったアニメ作品制作と世界中からアニメ制作を受託するという事業を展開する予定である。また、アニメスタジオは株式会社備中高梁まちづくり研究所の事務所にもなっており、高梁地域のまちづくりに関する事業も実施する。運営補助金

4920万円の財源は、半分が国の地方創生交付金であり、国からの支援は3年間である、との答弁がありました。

古民家を活かした観光まちづくり事業

古民家を再生して宿泊施設にする事業で、平成27年度から整備しているが、その経過、予算額、今後の予定や見通しについての質問に対し、吹屋地区でも空き家が問題となっており、観光戦略アクションプラン吹屋座談会の中で、自分たちで空き家活用に取り組みするという機運があった。コンサルタント等さまざまな方の指導を受けて事業に着手した。事業費は5300万円、運営は地元住民で組織した株式会社吹屋が行う見込みである。今後は指定管理者として数カ月の準備期間の後開業する。名称や利用料は未定であるが、イ

(仮称)山田方谷記念館整備事業

山田方谷の事績を顕彰し、全国へPRするため、旧図書館を「(仮称)山田方谷記念館」として整備する予算が計上されている。山田方は本市にとって重要な人物であり、また、歴史美術館等があることから、拠点となる施設をどう考えるかについては、予算計上する前に議会で議論があっても良かったのではないかと意見がありました。

また、整備の内容、中井地区にある方谷の里ふれあいセンターとの関連性はどうするのかとの質問に対し、整備事業予算2366万3千円の内、展示品の整備に約1500万円、トイレ改修工事が約280万円、嘱託職員の人件費が約240

万円である。山田方谷に関する施設間で機能の分担を図り、また、連携していく必要がある、との答弁がありました。

地球温暖化対策 実行計画策定事業

市の施設を対象とした地球温暖化対策実行計画策定委託料が予算案に計上されているが、その具体的内容や財源についての質問に対し、国から温室効果ガスの排出削減に向けた取り組みが求められている。文化交流館、総合文化会館など市内の大規模な公共施設を対象として空調設備や照明設備等大規模改修に備えるために市の計画を全面的に見直すもので、1000万円は国の財源を活用する、との答弁がありました。

建築物耐震診断 補助事業

旧耐震基準による住宅等

の耐震診断に対する補助に加えて、災害時の防災拠点へのアクセスを確保するために実施するとしているが、具体的にどのような建物が対象となるのかとの質問に対し、市内の第一次防災拠点としての市役所と高梁中央病院に到達するまでの道路沿いにある建物で、道路の中央線から45度の角度内にその建物が入る場合などは義務対象となる。これは災害時に崩壊した場合に備えて、通行を確保するためである、との答弁がありました。

岡山自動車道 付加車線 設置推進事業

岡山自動車道の賀陽インターチェンジから北房インターチェンジ区間のような暫定2車線の高速道路は、渋滞による速度低下、事故や災害による通行規制が発生する可能性が高いため、

安全性や機能性の面で課題がありました。そこで地元関係者や関係機関の長年にわたる働きかけにより、4車線化に向けた本事業が始まりました。

産業経済委員会は、一日も早い工事完成のため、本事業に係る幾つかの議案について、集中的に審査しました。工事に伴う残土処分に係る予算として平成29年度一般会計補正予算では4870万円の繰越、平成30年度一般会計予算では、約1億4600万円の予算が計上されています。

質疑では、有漢地域での住民説明が十分になされているか、用地交渉の進捗状況、特に付加車線設置の本体工事への影響はないのかという点について質問がありました。

これに対し、昨年4月以降、事業の進展等に合わせたタイミングで町内会長や関係者に、工事内容、安全

対策、運搬経路などについて説明してきており、今後でも工事スケジュールが具体化するに従って説明を行っていききたい。また、用地取得に関して、現時点(3月23日)では、事業にご理解はいただいているが、予定している土地全ての契約はできていない部分がある。用地が確定したとしても残土処分地として調整池や構造物の設置が必要であり、残土搬入までには数カ月を要するため、本体工事が滞ることが無いよう全力を挙げて用地交渉に取り組む、との答弁がありました。

地域農林業創生事業

薬用作物の普及拡大を図るため初期投資費用の一部を補助する本事業について、補助内容と今後どのように取り組んでいくのかとの質問がありました。

これに対し、補助内容は、カンゾウの苗は2分の1の

補助、育苗施設などは3分の2の補助である。有漢地域では地域内にある福祉事業所を含めた連携協定を締結して薬草栽培をスタートさせた。また、中井地区ではミシマサイコを栽培しており、平成29年度は苗の助成制度を活用されている。これまでも薬草栽培者や認定農業者等の団体を対象とした研修会を行っており、今後は薬草栽培に興味のある団体、または個人に、栽培状況や補助の内容も含めた説明を行う、との答弁がありました。

観光施策

本市の観光の弱点の一つは「食」であると考えてるが、ツーリズムEXPOジャパンなどの世界的な展示会で、ピオーネ、トマト、備中牛のような特産品のアピールが十分なされているのかとの質問がありました。

これに対し、平成 29 年度にツーリズムEXPOジャパンへ出展してみても、松山城や吹屋は世界でも通用する観光資源であり、今後インバウンド等で展開していくかなくてはならないと考えている。本市の観光において「食」は重要であり、これまで農林課と連携したPRは行っている。本市の特産品は全国に通用するものなので今後も連携を深めていきたい、との答弁がありました。

地域振興基金の補正予算の減額について

各まちづくり協議会が実施しているまちづくり事業や市民提案型まちづくり事業が補正予算で減額されており、予算があっても地域によってはまちづくり事業ができなくなっているのではないか。また、提案型まちづくり事業についても 500 万円の内 300 万円以上減額になるということは市民がこの事業に関心がないのではないかとこの質問がありました。

これに対し、今回の補正予算の減額は平成 29 年度の実績に基づくものであるが、各地域が高齢化によって従来どおりの行事はやりにくい状況になっているので、自分たちの地域に何が必要かという見極めをすべきではないかと考える。また、提案型事業については、行政側の難しい説明が多かったのではないかと感じているので、審査をする上では門戸を少し広げて使いやすい制度にしたいと考えている、との答弁がありました。

診療所の在り方について

高梁市国民健康保険診療所条例の一部改正により、今回松原診療所を廃止するが、行政改革の中で診療所の在り方をどのように考えていくのかとの質問に対し、診療所の患者数が激減しており、宇治診療所でも毎週一回の診察が隔週に変更している。今後は患者数の動向を見ながら、医療機関の適正配置に向けて医療関係者と協議し、関係者が合意した上で計画を作っていく、との答弁がありました。

高梁市川上訪問介護ステーションを成羽病院の事業とすることについて

高梁市川上訪問看護ステーションはこれまで介護保険課の所管であったが、これを成羽病院の所管とすることでどのようなメリットがあるのかとの質問に対し、成羽病院には看護職員も訪問看護の職員もいるので、機動的な相互支援ができるようになること。また、成羽病院という西部地域の医療拠点で入院医療と在宅医療の一体的、継続的かつ効果的な運用ができる、との答弁がありました。

3 月定例会で賛否が分かれた議案等の議決結果

○賛成 ●反対

件名	森	平松	伊藤	森上	石部	三村	石井	黒川	石田	内田	宮田好	小林	倉野	川上修	川上博	宮田公	大月
高梁市介護保険条例の一部を改正する条例	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 29 年度高梁市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 30 年度高梁市一般会計予算	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 30 年度高梁市国民健康保険特別会計予算	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎他の議案は全会一致で可決しました。 ◎議長は裁決に加わりません。

反対論

「高梁市介護保険条例の一部を改正する条例」は、今回の改正で加入者負担が大きくなることになり、生活を圧迫することになり反対する。

「平成29年度高梁市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)」平成30年度高梁市国民健康保険特別会計予算について、基金の積み立てをするのではなく、利用者負担引き下げのために一般会計からの法定外の繰り入れを行うべきであり、国保関係の2議案には反対する。

「平成30年度高梁市一般会計予算」には、新図書館を含む複合施設の約1億6000万円の指定管理委託料が含まれている。市長も総体の中で入館者と経済効果を強調されたが、図書館本来の教育施設としての人づ

くり・地域づくりのためには、直営で行うべきものであるという観点から、この議案に含まれる指定管理委託料には反対する。

石部 誠 議員

賛成論

「平成30年度高梁市一般会計予算」には、

吹屋の古民家を活かした観光まちづくり事業や、アニメスタジオ整備事業、方谷記念館整備事業などの新規事業が盛り込まれている。限られた予算の中で行う一つ一つの事業がシナジーを生み出し、本市の新たな産業として雇用の受け皿になるよう、長期的な視野に立って育てていきたい。

また、「平成30年度国民健康保険特別会計予算」については、本年度から広域化での運用が始まり、制度自体が大きく変わる。本市で

は平成28年度の1人当たりの医療費が県内で最も高く、医療費の削減が大きな課題になっている。今後も被保険者は減少するが、1人当たりの医療費は増加傾向にあり、地域の医療を守るには健康増進が待ったなしの課題であると認識している。産業経済委員会で附帯決議を付した「平成29年度高梁市一般会計補正予算(第6号)」であるが、現在の懸案事項を早急に解決し、遅滞なく事業を推進していただきたいという希望を申し添える。

石井 聡美 議員

賛成論

「高梁市産業学官連携基金条例を廃止する

条例」については、目的基金でありながら、平成20年の積み立て後ほとんど活用されていない状況が確認された。少なくとも目的基金

今後行政改革の中で適切な見直し、対応が必要な案件と考える。

宮田 公人 議員

「高梁市一般職の任期付職員採用等に関する条例の一部を改正する条例」について、これは国家公務員の給与改定に準じた改正であるが、市条例施行規則に記述されている「高度な専門的な知識経験を有する者」と現実の採用状況に若干の疑問を感じる面があるので、調査研究を深めたいと考えている。

「平成30年度高梁市一般会計予算」については、債務負担行為のうち、市内私立学校学生支援事業として平成31年度から3年間にわたって吉備国際大学への補助金が計上されている。行政改革推進委員会においても指摘された予算であり、

平成30年第1回高梁市議会（臨時）

過年度災害復旧工事等の未払金について審議しました

過年度災害復旧工事等に係る未払金（以下「未払金」という。）に関連する議案を審議するため、2月7日に臨時市議会が開かれました。

「過年度災害復旧工事等に係る未払金調査特別委員会調査報告書」

まず、未払金調査特別委員会から調査報告書が提出されました。

委員会では、205件全てについて担当課に詳細説明を行わせ、在籍する管理職や幹部職員の聞き取り調査も行った結果、事務処理上の不備の指摘はあったが、工事関係資料や計数が逸脱する事案はなかったとのことでした。しかし、不適切な事務処理、慢性的な予算不足や人員不足、支払いの遅延、請求の猶予などが明らかにあり、その状態を管理職が把握できていない間

題もありました。

調査報告書では、再発防止のため、職場内での情報の共有化、管理職の人材育成、選考システムの改善、人事管理の徹底、災害復旧工事等の業務フローの改善などを行うよう指摘されていました。

討論では、調査報告書では工事代金の支払い遅延や他の工事と合算するなどの慣習があったのではないかということに言及されておらず、調査報告書は承認できない、という意見がありました。

採決の結果、「過年度災害復旧工事等に係る未払金調査特別委員会調査報告書」は賛成多数で可決されました。

「高梁市長及び副市長の給料その他給与条例の一部を改正する条例」

職員の管理監督者として市長は給料の10分の1を2カ

月、事務事業の責任者で当時の上司でもある副市長は10分の1を4カ月減額するものです。

「平成29年度高梁市一般会計補正予算（第5号）」

未払金を業者へ支払うための予算措置と給与減額分を予算から減額するものです。

「平成29年度高梁市水道事業特別会計補正予算（第2号）」

水道事業の未払金を支払うものです。

討論では市長、副市長の給与の減額は責任の重さがはつきりしない、という反対討論がありました。

これに対し、議案には賛成するが、未払い案件は多くの市民に不信感を与えているので、執行部は信頼回復に努めなければならぬ。再発防止のため、わかりやすい形の改善策を議会や市民へ再提示す

べきである、との賛成討論がありました。

採決の結果、「高梁市長及び副市長の給料その他給与条例の一部を改正する条例」と「平成29年度高梁市一般会計補正予算（第5号）」は賛成多数で可決しました。

「平成29年度高梁市水道事業特別会計補正予算（第2号）」は全会一致で可決しました。

なお、議案の提案説明の際、市長から「未払金について市民皆様や議員に対して謝罪するとともに、担当職員5名を減給や戒告、直属の上司、所属長9名を減給、戒告、厳重注意の処分を行った。再発防止に向け、全職員対象のコンプライアンス研修や技術職員研修、事務改善フローの策定やチェック機能の強化に取り組む」と発言がありました。

2月臨時会で賛否が分かれた議案の議決結果

○賛成 ●反対

件 名	森	平松	伊藤	森上	石部	三村	石井	黒川	石田	内田	宮田好	小林	倉野	川上修	川上博	宮田公	大月
過年度災害復旧工事等に係る未払金調査特別委員会調査報告書	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市長及び副市長の給料その他給与条例の一部を改正する条例	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度高梁市一般会計補正予算（第5号）	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎他の議案は全会一致で可決しました。 ◎議長は裁決に加わりません。

管内 視察

産業経済委員会

平成30年2月15日
川上畑地かんがい施設視察

高梁市に5カ所ある畑地かんがい施設のうち、川上畑地かんがい施設の大竹ダムと高山浄水場などを訪れ、現状や課題について説明を受けました。農業従事者の高齢化や減少により、畑地かんがい事業の受給者は年々減っており、存続の方法についてしっかりとした議論が今後必要になっています。



本谷揚水機場視察



大竹ダム視察



高山浄水場視察

管内 視察

総務文教委員会

平成30年2月19日
学校給食センター視察

高梁学校給食センターと、高梁東中学校、高梁北中学校、有漢中学校を訪れました。給食センターでは、設備を見学し、地産地消や、アレルギー対策などの話を聞きました。また各中学校の校内視察とともに、設備や授業、通学や部活などで苦労をしている話を聞きました。



高梁学校給食センター調理室視察



有漢中学校長との意見交換



高梁学校給食センターボイラー室視察

管内 視察

市民生活委員会

平成30年2月26日
高梁市養護老人ホーム
成羽認定こども園建設現場視察

現在成羽高校跡地に建設中の、高梁市養護老人ホームと成羽認定こども園の建設現場を視察しました。その後、鶴鳴保育園や成羽学童保育、成羽小学校を訪問して、園長や担当者との意見交換を行いました。



鶴鳴保育園長との懇談



成羽学童保育視察



養護老人ホーム・成羽認定こども園建設現場視察

Q. ふるさと納税の返礼品の米について拡大してはどうか

A. 販売目的の米の作付面積は非常に少なく、今はなかなか難しい



ここを聞きました

平松 賢司

●稲作農家の振興対策について

―稲作農家の振興対策について―

平松 稲作農家を守っていくことについてどう考えているのか。

産業経済部長 果樹、あるいは野菜等も含めた中で主要作物の非常に重要なものであると思っております、そういったものと合わせて今後も米を中心として、果樹、野菜も含めた中で農業振興を図っていく必要がある。

平松 国は攻めの農業、輸出型農業と称して大企業の輸出拡大の予算を増やしているが、これでは日本の地域農業が疲弊するだけでなく、地域経済も衰退していくことになると思うが、このことについて市の認識を問う。

産業経済部長 国が進めている農政であり、国が判断しており、国

全体の中山間地域の農業を守るという意味においては中山間地域等直接支払制度は不利な条件の中において経費などがある程度補填するという制度もあるので、そういった中で農業は進められていると認識している。

平松 本市独自でも政府に対して米をはじめとする農産物の価格と農業を支える実効のある価格補償制度の確立と戸別補償制度の復活を申し入れるべきだと思うがどうか。

産業経済部長 平成31年1月から収入保険制度が始まる。米も含めて農産物であればほとんどの品目を対象とするものである。また経営所得安定策という点では農業共済、あるいは野菜価格安定制度など、既存の国の制度を有効的に活用していきたいと考えている。

Q. 新年度予算での定住促進施策はどうなっているのか

A. 若者、子育て世代向けの定住施策の拡充を図っている



ここを聞きました

小林 重樹

●高梁市図書館について
●行財政改革プランについて
●平成30年度予算と施策について

―高梁市図書館について―

小林 開館から1年が過ぎ、市内外から予想を上回る来館者があつた。どのように総括しているのか。

教育次長 1年間で66万人以上の方にご来館いただき、約半数の32万人が市外の方となっている。

新年度は貸し出し冊数を1人10冊から20冊に増やし、より図書に親しんでいただけるようにしたい。

小林 駅東駐車場の利用状況はどうか。

教育次長 NTT駐車場の利用率が低いので、料金の上限を定めるなど検討していきたい。

―平成30年度予算について―

小林 新年度予算での定住促進施

策はどんなになっているのか。

市長 若者、子育て世代向けの定住促進施策の拡充を図っていて、住宅リフォームや民間賃貸住宅建設に対する助成制度は、若者定住の視点でリニューアルした。

小林 一般社団法人「梁クラス」の取り組み状況はどうか。

市長 梁クラスは移住相談、現地案内、情報発信、移住後のフォロー、空き家の掘り起こしなど、総合的な事業を委託していて、今年度は50件を超える方を案内し、20件の方が移住を決められた。

市の空き家バンクの状況は、延べで222件の問い合わせがあり、152件が成約した。この実績は県下1位である。

市民生活部長 先行他市の事例を参考に民間委託が可能な業務の分析、個人情報やプライバシー、安

宮田 本庁の窓口業務を民間へ委託するとあるが、戸籍や住民基本台帳、国保や年金などの個人情報

市民生活部長 先行他市の事例を参考に民間委託が可能な業務の分析、個人情報やプライバシー、安

宮田 地域局、市民センターの見直しとあるが、どちらもちまちづりの拠点である。むしろ強化すべきではないか。

総務部長 両施設とも窓口業務はもちろん、まちづくり業務の中心である。加えて地域局は災害時の情報収集拠点であり、体制や業務は現状を維持する中で、本庁との業務の仕分けを考えている。

市民生活部長 研究を進める中でいろいろな情報が入ってくる。委託ありきではないが、メリットもあり検証しながら進めたい。

Q. 本庁の窓口業務を民間へ委託するとあるが、個人情報の流出やプライバシーの侵害などの問題はないのか

A. 先行他市の事例を参考に民間委託が可能な業務の分析等、総合的に検証する



ここを聞きました

宮田 好夫

- 基金残高と地方交付税について
- 高梁市行財政改革プランについて
- 市道、農道の修繕や改良について
- 児童安全対策について
- 第4種踏み切りの汽笛について
- 定住施策について

AED(自動体外式除細動器)の設置について

川上 昨年の6月議会で、AEDの夜間対応について、コンビニエンスストアへの設置などを提案したが、その後どのように検討したのか。

市長 市内公共施設のAEDは、いずれも屋内に備え付けられているが、夜間にも対応するため、屋外に設置できるように地元と協議を進め、できるだけ早いうちに市民に知らせるようにしたい。

また、市役所本庁舎では、宿直室で貸し出しできるようにする。さらに、コンビニエンスストアにも協力をお願いしていきたい。

Q. 市内の公共施設等に設置しているAEDについて、夜間対応できないか

A. 緊急時は夜間でも使えるよう屋外の設置を早急に進めたい



ここを聞きました

川上 博司

- 教育施策の推進について
- AED(自動体外式除細動器)設置について
- 産前産後のサポート体制について

教育施策の推進について

川上 中学校の部活動の顧問について、外部人材を積極的に活用すべきではないか。

教育長 今年度は単市のスポーツエキスパート事業で中学校の部活動へ外部人材を派遣している。新年度は国の部活動指導員派遣事業を活用し拡充していきたい。



市役所本庁舎宿直室前のAED

Q. 保育や介護の現場は人手不足である。新年度予算での対応は考えているのか

A. 新年度予算で臨時保育士の処遇改善や介護士の職場環境の改善を図りたい



ここを聞きました

三村 靖行

- 「高梁市まち・ひと・しごと総合戦略」の基本目標に掲げている「市内で働き続けることのできる雇用環境を創出する」の進捗状況と新年度予算について
- 自主防災組織について
- 建設・農林事業の要望書の申請制度について

「高梁市まち・ひと・しごと総合戦略」について

三村 現在の市内の求人状況はどうか。

市長 有効求人倍率は2・38倍と年々上昇している。

三村 市内で働く所が無いという声も多いがなぜか。

市長 専門的、技術的な求人は多いが一般事務の求人は少ない。職種によって非常に大きな差があるからではないか。

三村 保育や介護の現場は人手不足である。新年度予算での対応は考えているのか。

市長 新年度予算で臨時保育士の処遇改善や介護士の職場環境の改善を図りたい。

三村 定住促進のために新年度予算で工夫しているところはどこか。

市長 今年度は高校生を対象に市内企業バスツアーの開催や、県立高校の1年生を対象にキャリア教育を行った。

来年度は、新たに産業振興財団と連携し、「プロフェッショナル人材確保事業」や「エキスパート人材確保事業」に取り組む。

建設・農林事業の要望書の申請制度について

三村 住民から建設課や農林課に改良や改善の要望書が提出されているが何年も回答がされていないものがあるがなぜか。

産業経済部長 予算確保等が困難な事業や実施見込みが立たない事業などで、要望者に連絡できていないものがあるので順次連絡を行う。

今後は、状況について定期的にチェックするよう改善したい。

Q. 市職員の土木技師職員不足が慢性化している。今後、解消するため高校生枠を設けてはどうか

A. 専門職全般に不足している。県内の高校や大学に求人の案内を出しており、高校生枠も今年度から行っている



ここを聞きました

倉野 嗣雄

- 福祉政策について
- 農業振興について
- 行財政改革について

行財政改革について

倉野 本市の行財政改革では市民の皆さんにも一定の理解をいただかなければならないと考えられている。また、経費削減ももちろんである。そんな中で、職員の出張旅費について一定料金の精算ではなく、今後は実費精算すべきと考えられているがどうか。

総務部長 出張時の宿泊料については、国家公務員等の旅費に関する法律を準用し、高梁市の旅費に関する条例によって行っている。宿泊施設に支払うほかに雑費も含んでおり、事務的にも煩雑が想定されることから現状での運用で理解いただきたい。

倉野 改革の余地なしと理解しているのか。

市長 事務経費の削減については、国としても今後改革が進んでいると考えている。本市においても十分改革の余地はあると思っているので、今後考えていきたい。

倉野 職員採用について、技術職員不足が慢性化していると未払金の調べでも理由としてあった。今後解消していくために、高校生枠を設けてはどうか。

総務部長 土木技術職員に限らず専門職全般に不足であり、本年度から県内の高校や大学にも求人の案内を出している。高校生枠についても今年度から行っており、今後も努力していきたい。

森「学びの拠点」として再生しているが、具体的な活用は考えているのか。

保存修理中の旧吹屋小学校校舎について

森 用など個人情報保護の立場からクリアしなければならぬ課題もあるので直ちに導入は難しい。

総務部長 公用車への設置は職員の安全意識の向上や、事故発生時の対応、事故分析による対策など、効果は大きいと認識している。

森 ドライブレコーダーは、職員の安全運転につながる。さらに公用車は、市内全域を走行している防犯カメラの役割も果たす。導入すべきではないか。

公用車へのドライブレコーダー導入について

Q. 参加定員 1,000 名のヒルクライムチャレンジシリーズ高梁吹屋ふるさと村大会だが、定員数を増やせないのか

A. 今年度は、1,100 名に見直して開催する予定である



ここを聞きました

森 和之

- 公用車へのドライブレコーダー導入について
- 備中松山城の観光について
- 保存修理中の旧吹屋小学校校舎について
- ヒルクライムチャレンジシリーズ高梁吹屋ふるさと村大会について

教育次長

現在、博物館と資料館の展示内容を詰めている段階である。吉岡銅山、ベンガラ、塩田瓦、学校の歴史を展示の柱にしていきたいと考える。

また、観光資源としての価値を高める活用も検討している。

森 旧吹屋小学校本館は建築技師

江川三郎八氏の設計によるものである。校舎の活用とともに高名な江川氏を顕彰し、観光面での活用を考えられないか。

教育次長

修理完成後には、江川式建築の展示コーナーを設けて積極的に情報発信していく。

※江川三郎八・・・真庭市にある旧遷喬尋常小学校（国指定重要文化財）などを手がけた建築技師

Q. 高梁市医療計画をどのように市民に広報していくのか

A. ホームページや広報紙のほか、市民向けのわかりやすいリーフレットを作成しようと考えている



ここを聞きました

伊藤 泰樹

- 主な死因別対応と検診について
- 救急体制の現状と課題について
- 診察時間と予約診療について
- 市内医療従事者の教育、スキルアップ体制について

高梁市が検討している医療計画について

伊藤

市内医療従事者の高齢化と人手不足について、市としても対策が必要ではないか。

政策監

計画を策定する中で、一つの医療機関だけでなく、地域全体でこれからの市の医療の方向性に合意していただき、どういう形で大学の医局などに要請していくことが可能なのか、将来的には議論が必要と考える。

伊藤

吉備国際大学保健医療福祉学部との連携において看護師等の確保ができないか。

政策監

市と学園の連絡会議で市からは、奨学金の案内とあわせて学生に市内での就職をお願いし、学園からは毎年安定的に新卒者を採用する仕組みができないか提案

を受けている。

伊藤 医療機関に通院することが困難な市民に対して、どのような医療を提供するのか。

政策監

どこに住んでいても適切な医療が受けられるよう、公共交通等通院支援をどうしていくのか、また在宅医療の提供体制をどう整えていくのか今後議論を深めていきたい。

伊藤

市民に切望されている小児救急体制を構築できないか。

政策監

医療機関と連携して、例えば、内科医が小児の救急で対応できないかという議論を持ちかけてみたり、夜間の対応で何かできないかという話し合いを進めてみたい。

Q. 削減ありきの行革プランの計画策定は市民の暮らしや地域の実情に留意すべきではないか

A. 安定した行財政運営を維持し、質の高い市民サービスを提供するために行うものである



ここを聞きました

●市の進める行財政改革の再考を求める

——市の進める行財政改革の再考を求める

石部 地域局や市民センターなどの出先機関は、窓口サービス、地域の相談事や共助のためのセンターとしても必要である。過疎に拍車をかけるもので廃止すべきではないと考えるがどうか。

総務部長 地域局や市民センターは身近な住民サービスやまちづくりの拠点で災害時等の施設でもある。その機能は有したまま本庁業務との見直しの中で考え、廃止を前提としていない。

石部 ごみ収集の有料化は他自治体の例を見ても、市民の負担が増えるだけで減量化に結びつかないのではないか。

市長 市民のリサイクル意識が高まれば、ごみの排出量が減り焼却

炉や最終処分場などに好影響につながる。ごみ袋の有料化はしたくないが減量化ができない場合、有料化も選択肢である。

石部 現在、18歳まで医療費を無料とする制度は、市民の評価も高い制度であり、所得制限をおこなわず現行のまま継続を望むがどうか。

健康福祉部長 医療費助成額が大幅に増加している。この制度を継続するため平成30年度から所得制限を含めて検討していく。

石部 削減ありきの行革では人づくりや定住促進もあり得ない。市民要望に沿った行革プランの策定を行うべきではないか。

総務部長 行革は安定した行財政運営を維持し、質の高い市民サービスを提供するために、全体を見た中で市民要望に応えさせていただく。

Q. キビザクラを高梁独自の観光、文化資源として活用したらどうか

A. 非常に貴重なものであり、まずは保護に努めたい



ここを聞きました

●高梁の文化資産と観光資産について
●過年度災害復旧工事等に係る未払金について
●行財政改革について

——高梁の文化資産と観光資産について

森上 キビザクラという高梁固有の桜を発見した吉野善介氏の業績を後世に伝えたらどうか。

教育次長 倉敷市立自然史博物館の協力を得て、広く情報発信に努めていきたい。

森上 キビザクラを高梁独自の観光文化資産として活用したらどうか。

産業経済部長 植物学的に非常に貴重なものであり、まずはその保護に務めたいと思っている。

——過年度災害復旧工事等に係る未払金について

森上 未払金に関する業者からの請求がなぜ無かったのか。市はなぜ請求確認をしなかったのか。そういう慣習のようなものがあつたのか。**総務部長** 業者からの請求はな

かつた。なぜかということとは判らないが、市であるからであろうということです。

森上 工事代金の請求権の時効は3年で既に時効のものもあるのではないか。

総務部長 工事の検査合格が請求の起算点であるが、今回の事案では契約書の締結までも至っていないので、請求できる立場ではなかった。

——行財政改革に関して

森上 行財政改革のなかで、業務の民間委託が今後増えていくと思うが、1億6000万円と高額な委託料の図書館を直営に戻すという市民要望があれば、直営での想定もあるのか。

教育次長 可能性はゼロではないが、今は考えていない。

石井 高梁市では雑かみがリサイクル対象になっていない。近隣自治体は既に対象に含めている。高梁市でもそうすべきではないか。

市民生活部長 本市でも早速取りかかれるよう、すでに担当課が関係者や業者と協議を進めている。

一般家庭を対象にした収集は、6月から8月ごろをめどに始められるよう進めたい。

石井 ごみ減量化のために戸別収集も検討してはどうか。

市民生活部長 戸別収集を75歳以上の高齢世帯で試算すると約8億円を上回る経費がかかる。さまざまな影響を整理しながら検討する。

Q. 地域通貨でインバウンド推進をしたらどうか

A. 関係団体と連携して協議したい



石井 聡美

ここを聞きました

- 市営住宅について
- 町内会支援制度について
- ごみ減量化について
- 電子マネーによる地域通貨について
- リカレント教育について
- 幼稚園、保育園、認定こども園の入園について

電子マネーの地域通貨を

石井 今後、到来が予想されるキャッシュレス社会に向けて、本市でも電子マネーによる地域通貨を導入してはどうか。

市長 今では、キャッシュレス決済が非常に低コストで運用できるようなった。商工会議所などと連携し導入へ向けて考えたい。

電子地域通貨は以前からやりたいたと思っています。低コスト化が進んだことで、可能性が広がると考えている。



大分県由布市での視察

視察外

広報公聴特別委員会

平成30年2月5日・6日
大分県由布市（議会報告会について）
大分県大分市（市民・若年層との意見交換について）

由布市では平成20年度から議会報告会に取り組んでいます。平成28年度からはワークショップ方式にし、会場に即したテーマで議論を行なうよう変更。自治会や各団体などからの申請による意見交換会も実施されています。

大分市議会では、若年層の政治参加意識を喚起することを目的に、市内の高校、大学、専門学校で意見交換会を行っています。議員から希望者を募って出向き、特にテーマをもたずフリーな意見交換をしているとのことでした。



埼玉県所沢市での視察

視察外

議会運営委員会

平成30年1月15日・16日
埼玉県所沢市（議会の政策形成強化の取り組みについて）
東京都町田市（議会改革の取り組みについて）

所沢市は議会基本条例を定期的に見直しながら、議会の政策形成強化に向けてバージョニアップし、その過程を改革資料として文書化しています。専門的知見の活用として、大学とも連携を深めています。

町田市では、タブレットを活用した議案のデータ配信など情報化に関する改革の取り組みが顕著。特に予算・決算審査の委員会付託と委員会において付帯決議を活用し、課題と考えられる点を文書化して本会議に返す方法は効果的と考えられます。

Topics あの議論は どうなった？

高梁市図書館が開館され一年が過ぎました。新図書館は開館場所や指定管理の委託問題など、一定方向が出るまでも約10年をかけて論議され結論が出されたものです。

駅前の複合施設の入り口（2階）には「高梁市図書館」とあります。入れば左手は観光案内と地元の特産物（お土産）の販売コーナー、右手には駅待合として活用できるスターバックス（カフェ）があり、その奥に蔦屋書店が大きく構えています。図書館スペースは2階一部と、3階に一般図書と学習室、4階は児童図書と多目的室が整備されテラスも完備されています。複合施設は開館から1年間で66万人の来館者を迎え、図書の貸出冊数は20万冊と旧図書館から3倍以上に増えました。

また移動図書は、旧図書館運営時よりも運行日を月1回から週2回に、利用場所も23カ所から30カ所に、本の入れ替えも年4回から毎月となりました。移動図書の利用者や貸出冊数は約4倍に増

加し喜ばれています。あわせて移動図書車では日用品や生活雑貨等も販売し、利用者のリクエストにもできるだけ応えるよう運営されています。

利用者アンケートの結果では、年中無休で開館時間が長いことや、館内の居心地の良さ、スタッフの対応について、ほぼ8割以上の方が満足しているとの回答がありました。

これに対して、新刊や話題図書を充実してほしい。おすすめてや新刊コーナーがわかりにくい。静かに本が読めないときがある。トイレの増設。駐車場がわかりにくい。周辺駐車場の利用料金が統一されていない。障害者用駐車場からのアプローチに屋根がない。指定管理料が旧図書館運営経費に比べて4倍以上かかっている、などの改善点等が指摘されています。

今後、議会としても市民や利用者のご意見に耳を傾け、より良い図書館にしていかなければいけません。なお、旧図書館は（仮称）山田山谷記念館にリニューアルされる予定です。



編集後記

議会では本会議・各委員会において、執行部との活発な質疑が行われています。議会広報公聴特別委員会は、これらの情報を市民の皆様にはわかりやすくお伝えするよう「高梁市議会だより」の作成に取り組んでいます。また年2回（16カ所）で行う高梁市議会報告会の資料づくり、広報活動も、この委員会で行っています。この2月に議会報告会の先進地として大分県の由布市と大分市を研修視察で訪れました。その成果が少しでもあらわれればと、委員の皆が思っています。議会報告会についても皆様の、ご意見、ご要望などお聞かせくださるようお願いいたします。

新緑の美しい季節となりました。忙しい毎日、一時でも山を見て心癒されますように。

（森 和之）

編集

委員長	宮田好夫
副委員長	石田芳生
委員	石部 誠
委員	石井 聡美
委員	森上昌生
委員	森 和之
委員	伊藤泰樹

議会広報公聴特別委員会